

2022年 東京都のHIV感染者・AIDS患者の動向及び 検査・相談事業の実績



HIV感染者・AIDS患者の発生動向

- ・東京都におけるHIV感染者とAIDS患者を合わせた新規報告数は288件（令和3年357件）であり、うちHIV感染者、AIDS患者の新規報告数はそれぞれ235件と53件であった（図1-5）。
- ・HIV感染者とAIDS患者報告数に占めるAIDS患者報告数の割合は約18%であった。
- ・全国の報告数に占める東京都の割合は、HIV感染者が約40%（図1-8）、AIDS患者が約20%（図1-14）であった。
- ・国籍別及び性別では、HIV感染者とAIDS患者をあわせた新規報告数は、日本国籍男性が235件（82%）と最も多かった。外国籍男性は48件（17%）であった（図1-4）。
- ・推定感染経路別では、HIV感染者の89%（図1-10）、AIDS患者の77%（図1-16）が性的接触であり、いずれにおいても同性間性的接触の占める割合が最も大きかった。
- ・年齢別では、HIV感染者は20歳代（35%）と30歳代（37%）が多く（図1-13）、AIDS患者報告数は30歳代以上（38%）が最も多く、50歳代以上（28%）（図1-19）が続いた。
- ・AIDS患者報告数のうち、ニューモシスティス肺炎の発症をきっかけにAIDSと診断されたAIDS患者が38件（56%）と最も多かった（図1-20）。



相談・検査・療養体制の動向

- ・都内のHIV/エイズ電話相談件数は9,514件で4年ぶりに増加した（図2-1）。
- ・東京都HIV/エイズ電話相談件数は5,974件で、性別では男性が約80%（図2-2）、年齢別では50歳代以上が26.3%と最も多かった（図2-3）。相談内容は、感染不安や症状治療に関するものが多かった。
- ・令和4年のHIV検査件数は17,111件で、前年から1,852件増加したが（図2-5）、陽性率は0.52%で前年から0.23%減少した（図2-6）。
- ・免疫機能障害による身体障害者手帳の交付数は年々増加し、令和4年は10,284件で、免疫機能障害による身体障害者手帳交付数は前年より328件増加した（図2-8）。

本「AIDS News Letter No.183（資料編）」は、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づいて、令和4年（2022年）に報告されたHIV感染者とAIDS患者の統計及び区・都の保健所等における相談・検査業務の実績をまとめ、分析したものである。

図表中では、平成をH、令和をR、令和元年をR1、東京都新宿東口検査・相談室（旧東京都南新宿検査・相談室）を新宿東口、東京都多摩地域検査・相談室を多摩地域と記載する。また、保健所政令市である八王子市（平成19年4月設置）、町田市（平成23年4月設置）は都保健所に含めて計上する。

なお、令和2年、令和3年、令和4年については、検査縮小や一時休止等、新型コロナウイルス感染症の影響がある。

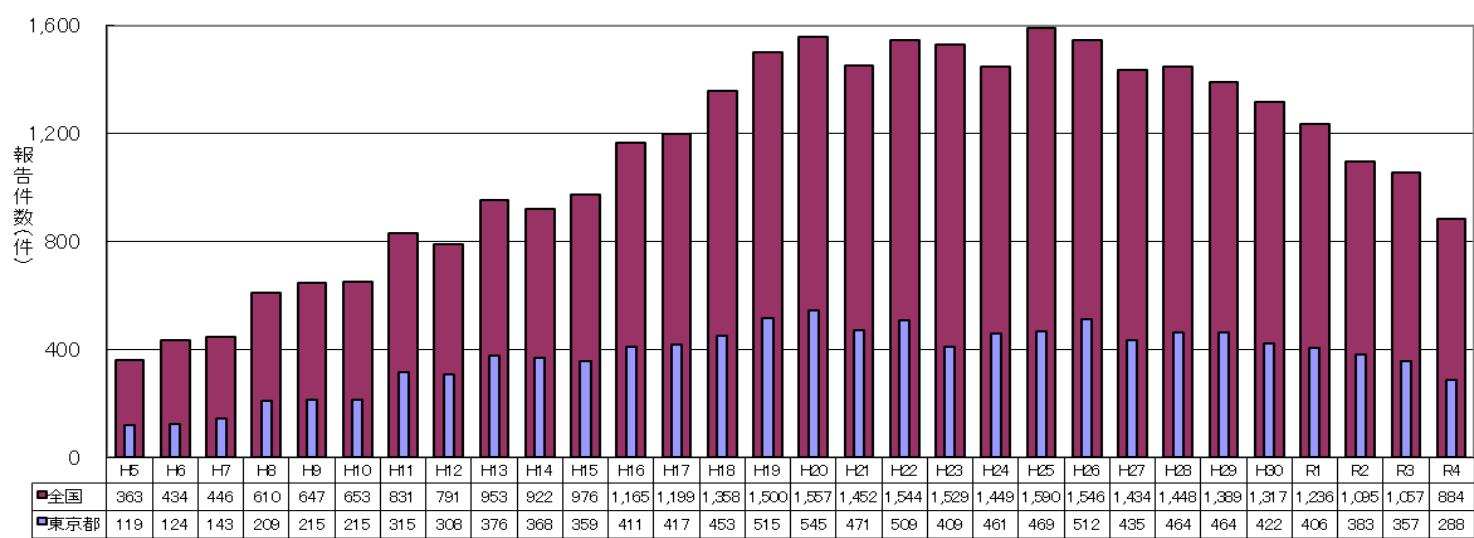
目 次

I HIV感染者及びAIDS患者の発生動向			
P.3	1-1	HIV感染者とAIDS患者の総計	東京都と全国の報告数年次推移
	1-2	HIV感染者とAIDS患者の総計	東京都の推定感染経路別報告数年次推移
	1-3	HIV感染者とAIDS患者の総計	東京都の推定感染地別報告数年次推移
P.4	1-4	HIV感染者とAIDS患者の総計	東京都の国籍別・性別報告数年次推移
	1-5	HIV感染者とAIDS患者	東京都のHIV感染者とAIDS患者報告数年次推移
	1-6	HIV感染者とAIDS患者	全国のHIV感染者とAIDS患者報告数年次推移
P.5	1-7	HIV感染者とAIDS患者	東京都以外のHIV感染者とAIDS患者報告数年次推移
	1-8	HIV感染者	全国に占める東京都のHIV感染者報告数割合年次推移
	1-9	HIV感染者	東京都のHIV感染者の国籍別・性別報告数年次推移
P.6	1-10	HIV感染者	東京都のHIV感染者の推定感染経路別報告数年次推移
	1-11	HIV感染者	東京都の日本国籍男性におけるHIV感染者の推定感染経路別報告数年次推移
	1-12	HIV感染者	東京都のHIV感染者の年齢別・推定感染経路別報告割合（令和4年）
P.7	1-13	HIV感染者	東京都のHIV感染者の年齢別報告数年次推移
	1-14	AIDS患者	全国に占める東京都のAIDS患者報告数割合年次推移
	1-15	AIDS患者	東京都のAIDS患者の国籍別・性別報告数年次推移
P.8	1-16	AIDS患者	東京都のAIDS患者の推定感染経路別報告数年次推移
	1-17	AIDS患者	東京都の日本国籍男性におけるAIDS患者の推定感染経路別報告数年次推移
	1-18	AIDS患者	東京都のAIDS患者の年齢別・推定感染経路別報告割合（令和4年）
P.9	1-19	AIDS患者	東京都のAIDS患者の年齢別報告数年次推移
	1-20	AIDS患者	東京都のAIDS指標疾患（令和4年）
II 相談・検査・療養体制			
P.10	2-1	HIV/エイズ電話相談	東京都のHIV/エイズ電話相談件数年次推移
	2-2	HIV/エイズ電話相談	「東京都HIV/エイズ電話相談」における相談者の性別（令和4年）
	2-3	HIV/エイズ電話相談	「東京都HIV/エイズ電話相談」における相談者の年齢（令和4年）
	2-4	HIV/エイズ電話相談	「東京都HIV/エイズ電話相談」の相談内容（令和4年）
P.11	2-5	HIV検査	東京都のHIV検査件数年次推移
	2-6	HIV検査	東京都のHIV検査における陽性件数・陽性率年次推移
P.12	2-7	医療機関	東京都のHIV感染者報告の届出別割合（平成25年～令和4年）
	2-8	身体障害者手帳	東京都の身体障害者手帳（免疫機能障害）交付数年次推移とHIV感染者、AIDS患者累積報告数
P.13	2-9	性感染症検査	東京都の梅毒検査件数年次推移
	2-10	性感染症検査	東京都の梅毒検査における陽性件数・陽性率年次推移
III 世界及び全国のHIV感染者・AIDS患者数			
P.14	世界のHIV/AIDS流行状況2021年末現在（UNAIDS/WHO）		
	日本のHIV感染者、AIDS患者累計数2022年末現在（厚生労働省）		

1. HIV感染者及びAIDS患者の発生動向

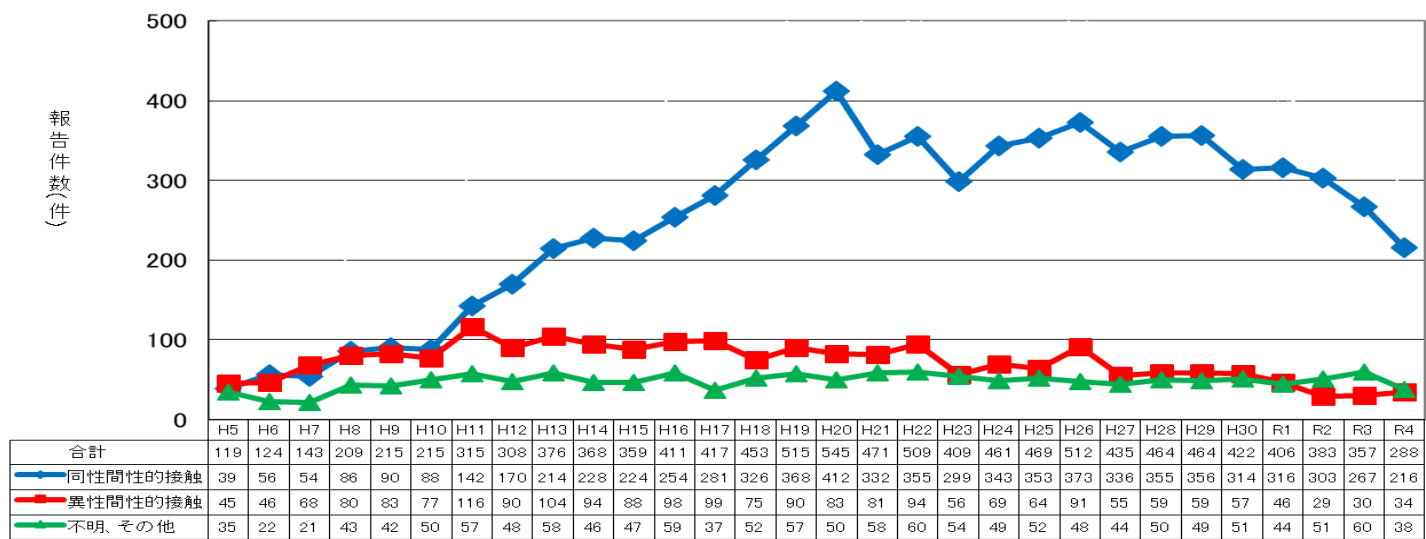
[HIV感染者とAIDS患者の総計 (HIV+AIDS)]

1-1
東京都と
全国の報告
数年次推移



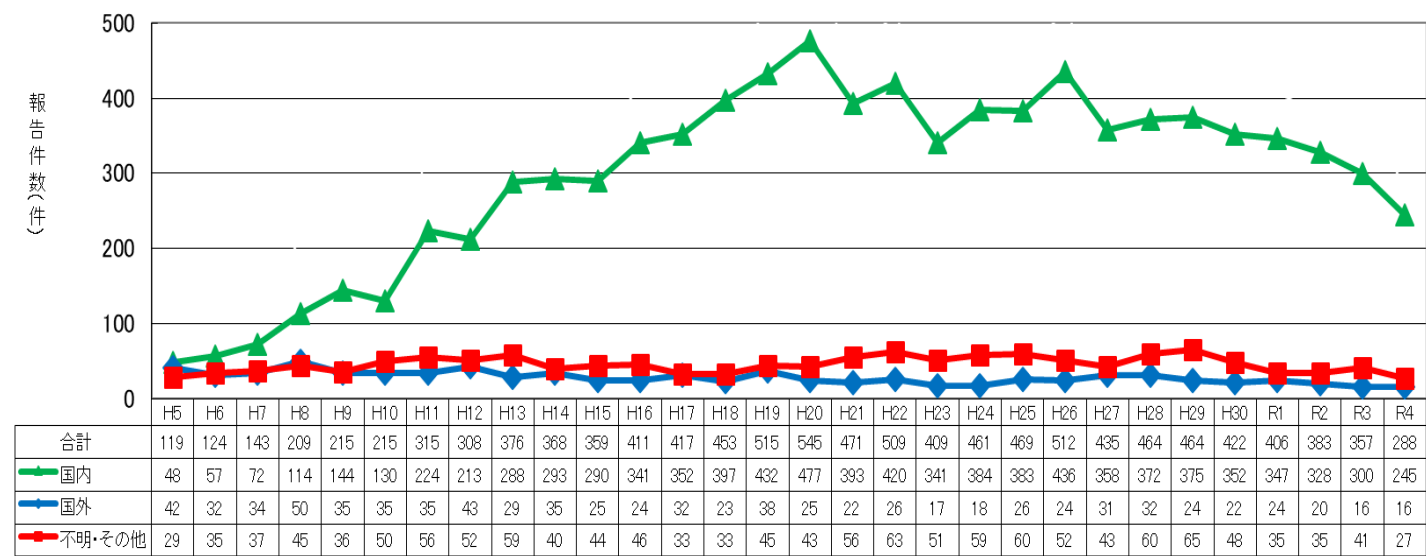
HIV感染者とAIDS患者を合わせた新規報告数は、東京都では前年より69件減少し288件、全国では前年より173件減少し884件であった。

1-2
東京都の
推定感染経
路別報告数
年次推移



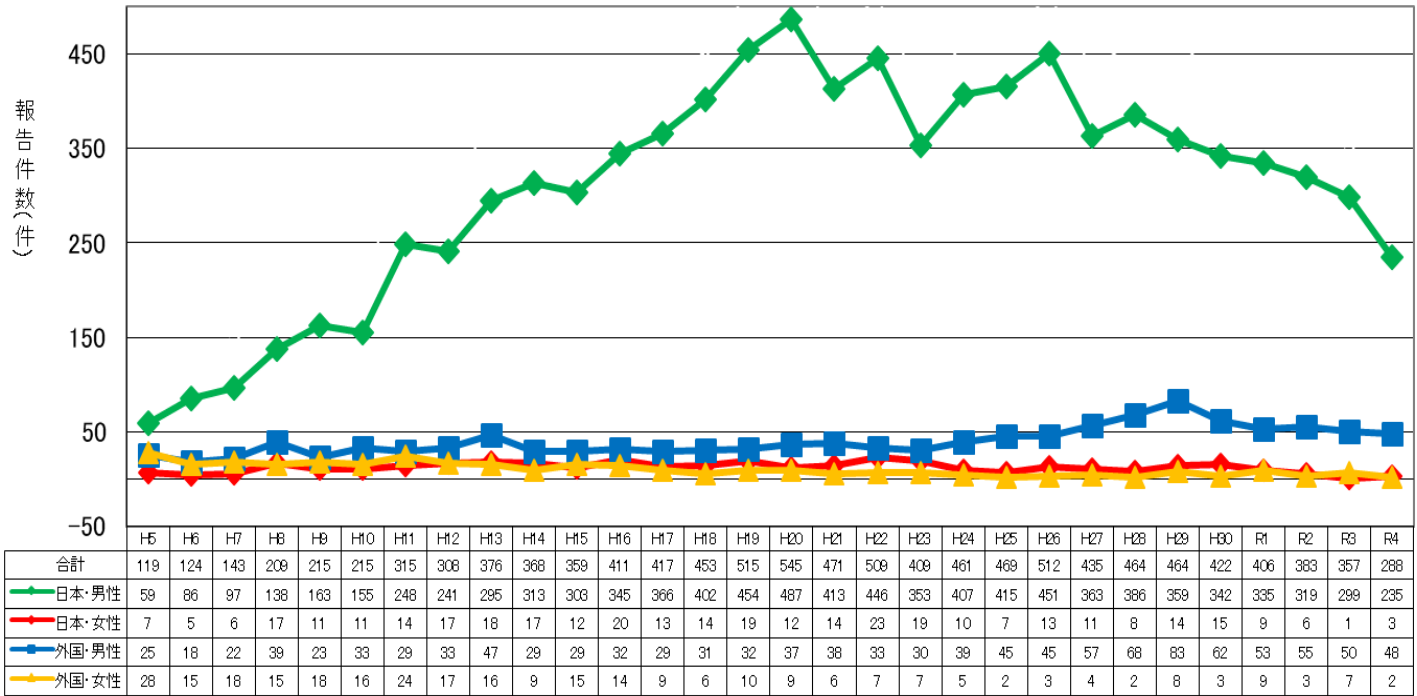
推定感染経路別では、同性間性的接触(両性間性的接触含む)による報告数は、平成20年の412件をピークにその後は300～350件程度で推移し、直近3年間は減少傾向にあり令和4年は216件に減少した。異性間性的接触は、平成26年以降、緩やかな減少傾向にあったが、令和4年は34件と前年より4件増加した。

1-3
東京都の
推定感染地
別報告数
年次推移



推定感染地別では、国内感染は前年より55件減少し245件であり、国外感染は前年と同じく16件であった。

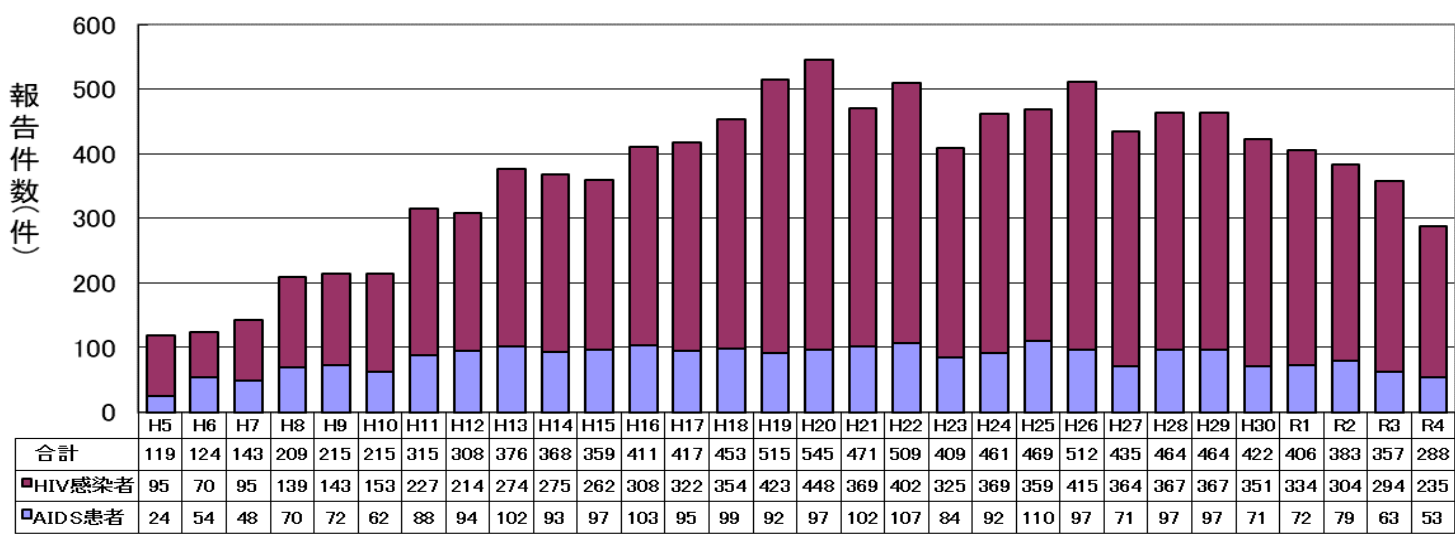
1-4
東京都の
国籍別・
性別報告数
年次推移



国籍別および性別では、日本国籍男性の報告数は前年より64件減少し235件、外国籍男性は2件減少し48件であった。日本国籍女性は3件、外国籍女性は2件であった。

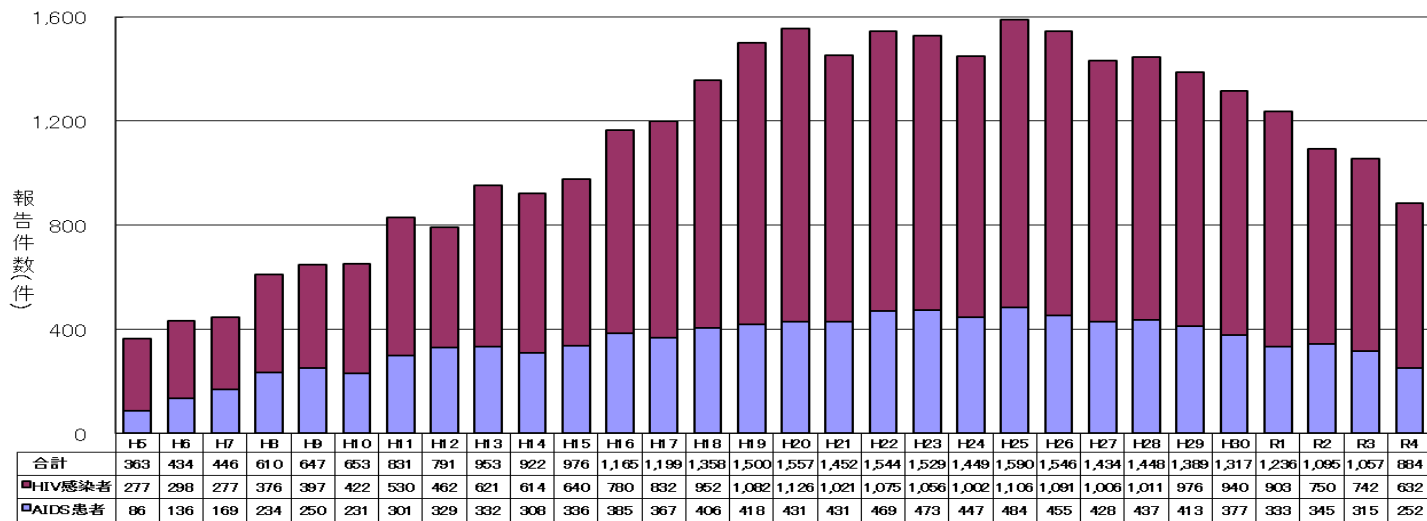
[HIV感染者とAIDS患者（HIV/AIDS）]

1-5
東京都の
HIV感染者
とAIDS患者
報告数年次
推移



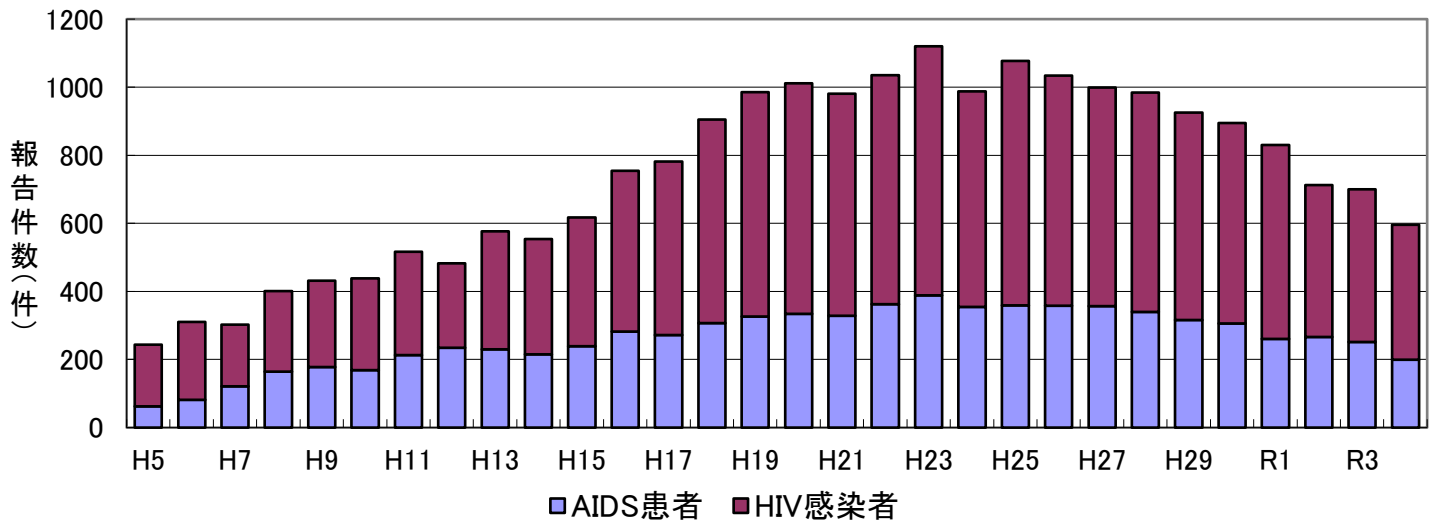
東京都におけるHIV感染者報告数は前年より59件減少し235件であり、AIDS患者報告数は前年より10件減少し53件であった。

1-6
全国の
HIV感染者と
AIDS患者
報告数年次
推移



全国におけるHIV感染者報告数は、前年より110件減少し632件であった。AIDS患者報告数は前年より63件減少し252件であった。HIV感染者とAIDS患者をあわせた報告数の約29%がAIDS発症によりHIV感染が判明した。

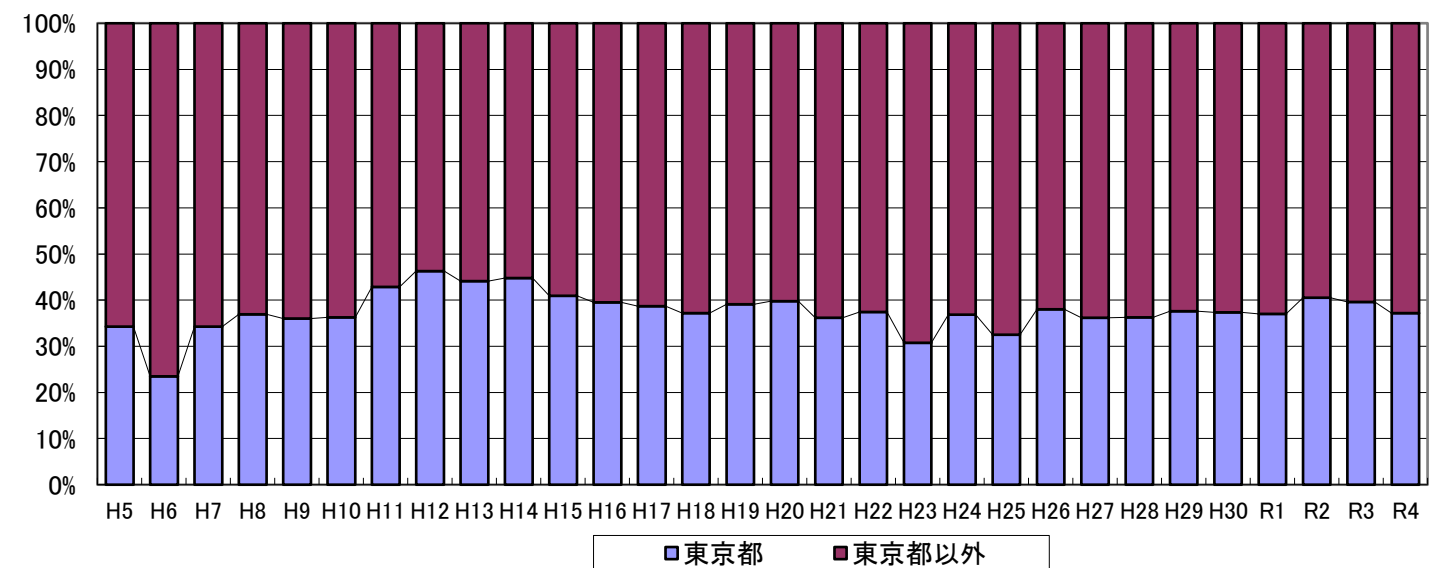
1-7
東京都以外
のHIV感染
者とAIDS患
者報告数年
次推移



東京都以外におけるHIV感染者報告数及びAIDS患者報告件数は前年より減少した。

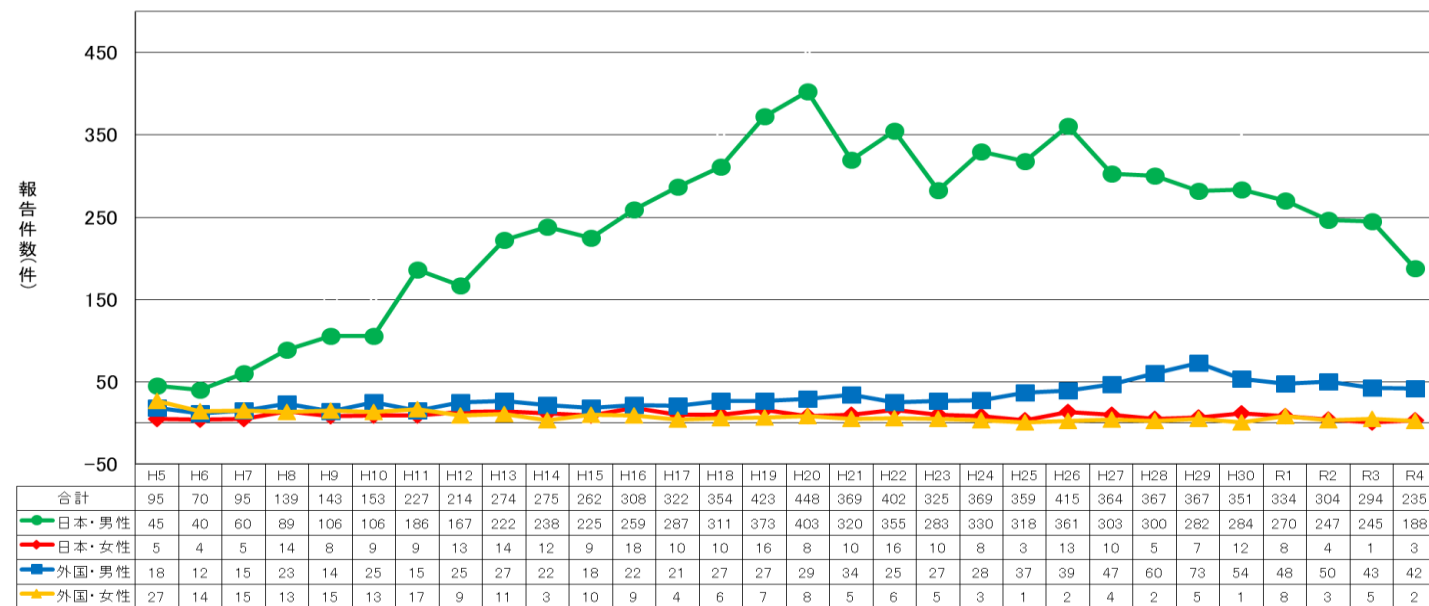
[HIV感染者 (HIV)]

1-8
全国に占め
る東京都の
HIV感染者
報告数割合
年次推移



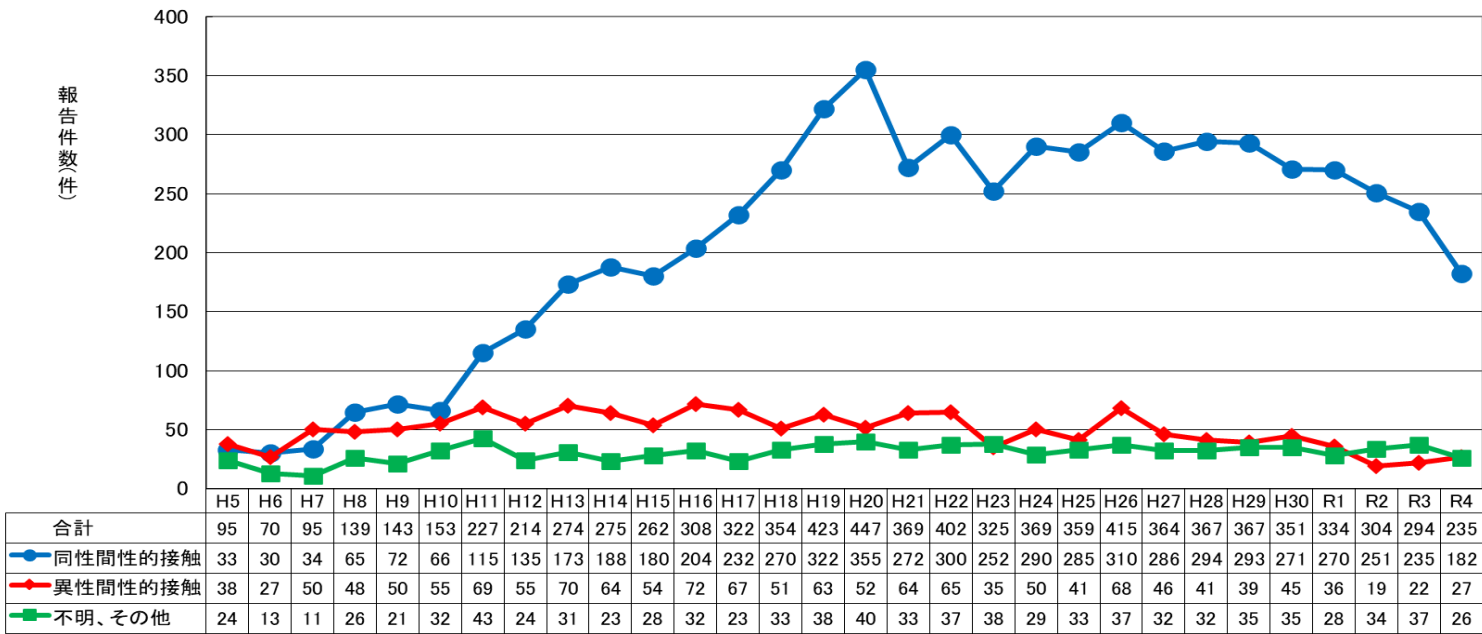
東京都のHIV感染者報告数は、平成26年以降、全国の報告数の35%から40%程度で推移している。

1-9
東京都の
HIV感染者
の国籍別・
性別報告数
年次推移



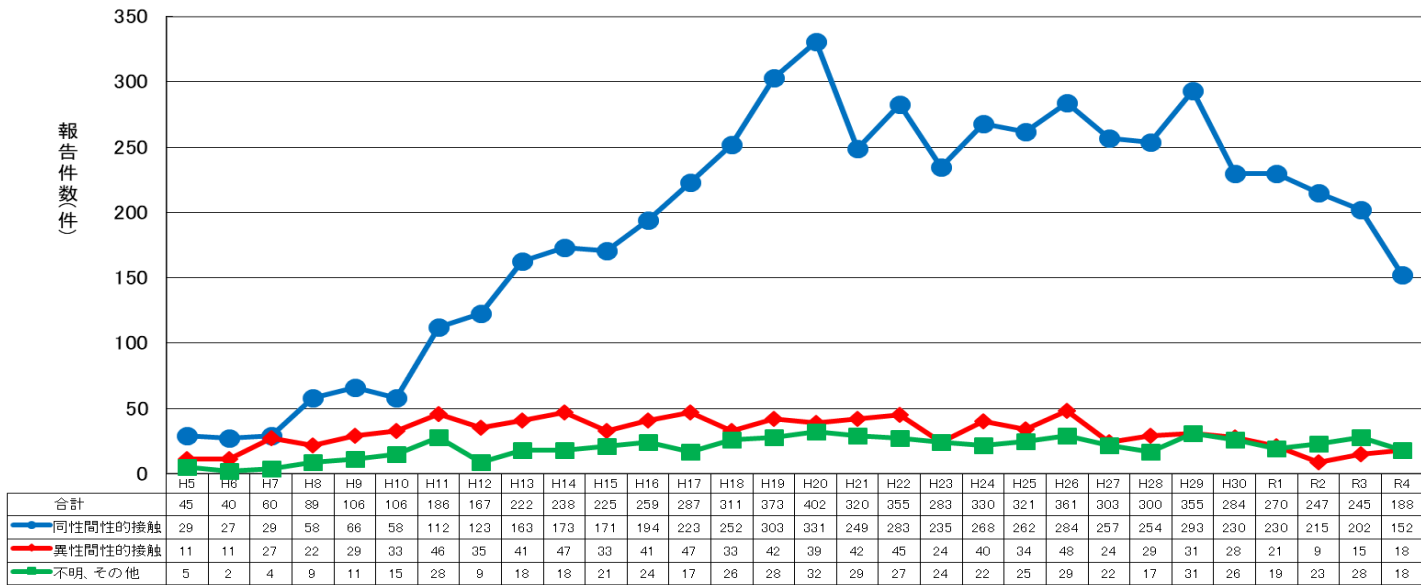
国籍別および性別では、日本人国籍男性の報告数は前年より57件減少し188件であった。外国籍男性の報告数は、前年より1件減少し42件であった。

1-10
東京都の
HIV感染者
の推定感染
経路別報告
数年次推移



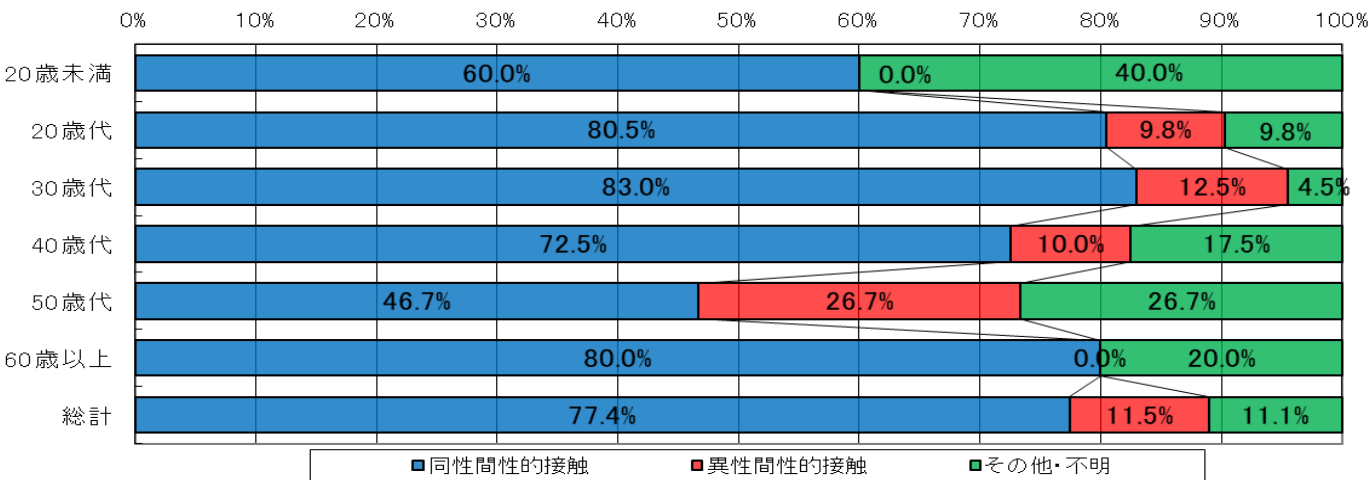
東京都のHIV感染者の報告のうち、同性間性的接触（両性間性的接触含む）の報告数は平成20年の355件をピークに平成28年以降減少傾向にあり、令和4年は182件であった。

1-11
東京都の
日本国籍男
性における
HIV感染者
の推定感染
経路別報告
数年次推移



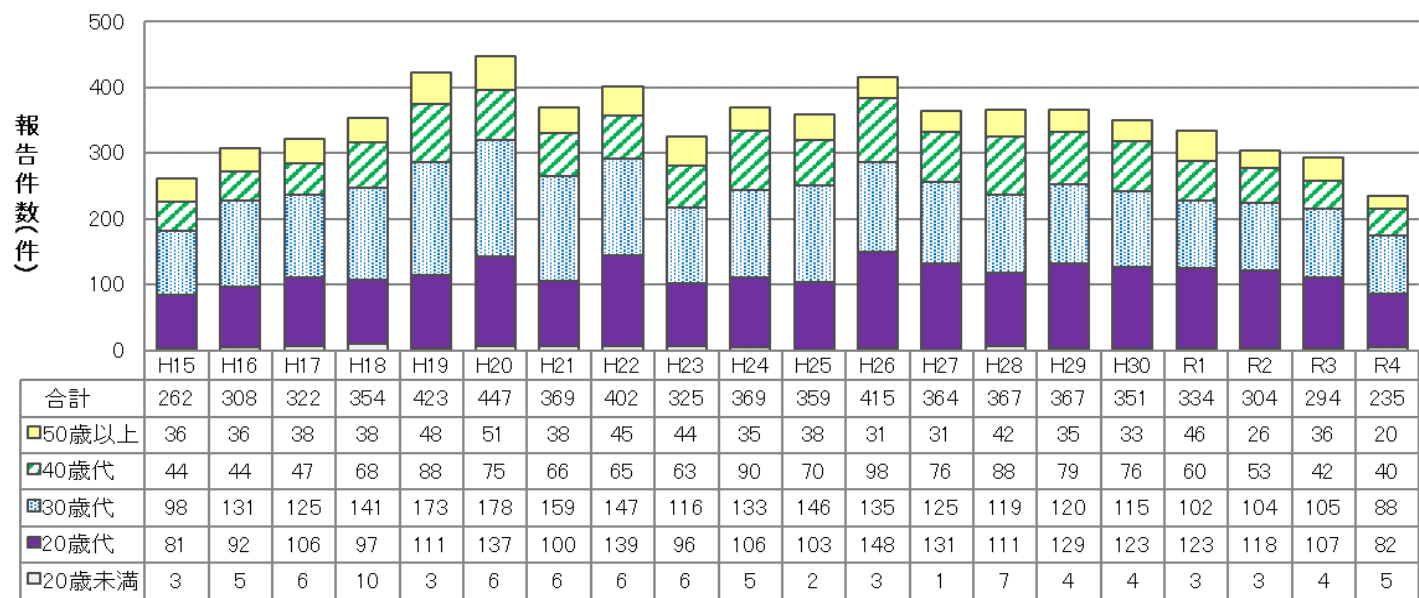
日本国籍男性におけるHIV感染者のうち感染経路別では、同性間性的接触（両性間性的接触含む）の報告数は、平成20年の331件をピークに翌年以降200件台で推移し、令和4年は152件であった。一方、異性間性的接触の報告数は、令和2年に9件まで減少したが、令和4年は前年より3件増加し18件であった。

1-12
東京都の
HIV感染者の
年齢別・推
定感染経路
別報告割合
（令和4年）



東京都のHIV感染者のうち、感染経路別では同性間性的接触（両性間性的接触含む）の割合が、全体の約77%を占めていた。但し、50歳代は同性間性的接触（両性間性的接触含む）が46.7%と全体の半数弱となった。

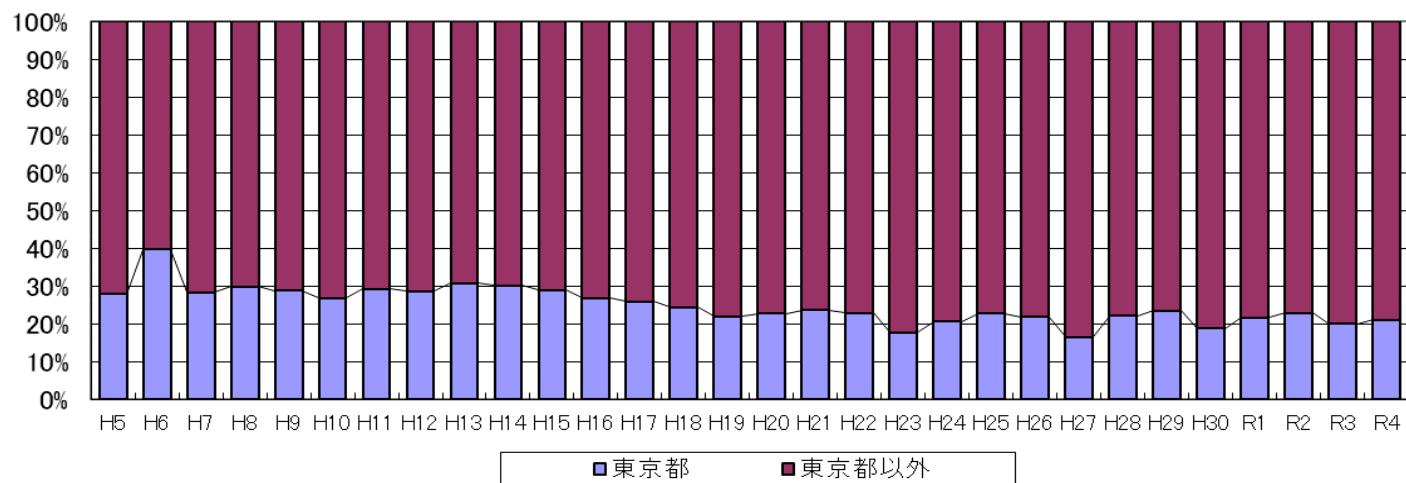
1-13
東京都の
HIV感染者の
年齢別報告
数年次推移



東京都のHIV感染者の年齢階級別報告数は、20歳代(82件)、30歳代(88件)が多かった。令和4年は前年に比べ20歳未満以外での報告数は減少した。

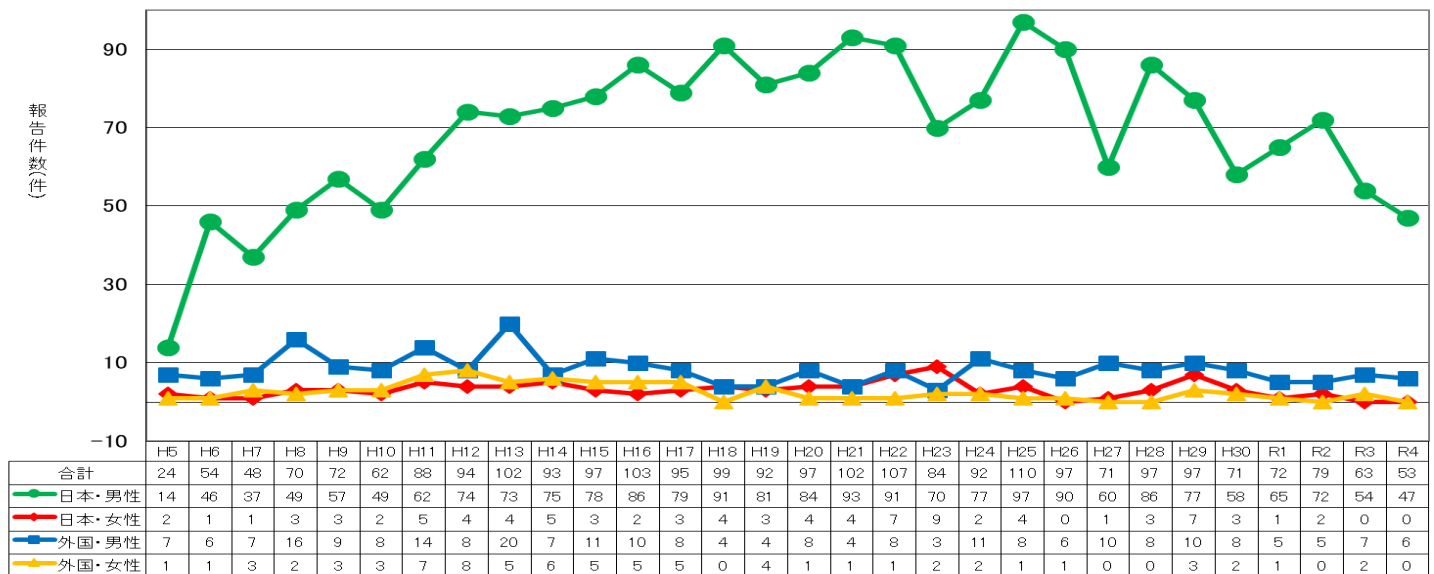
[AIDS患者 (AIDS)]

1-14
全国に占める
東京都の
AIDS患者報告
数割合年次
推移



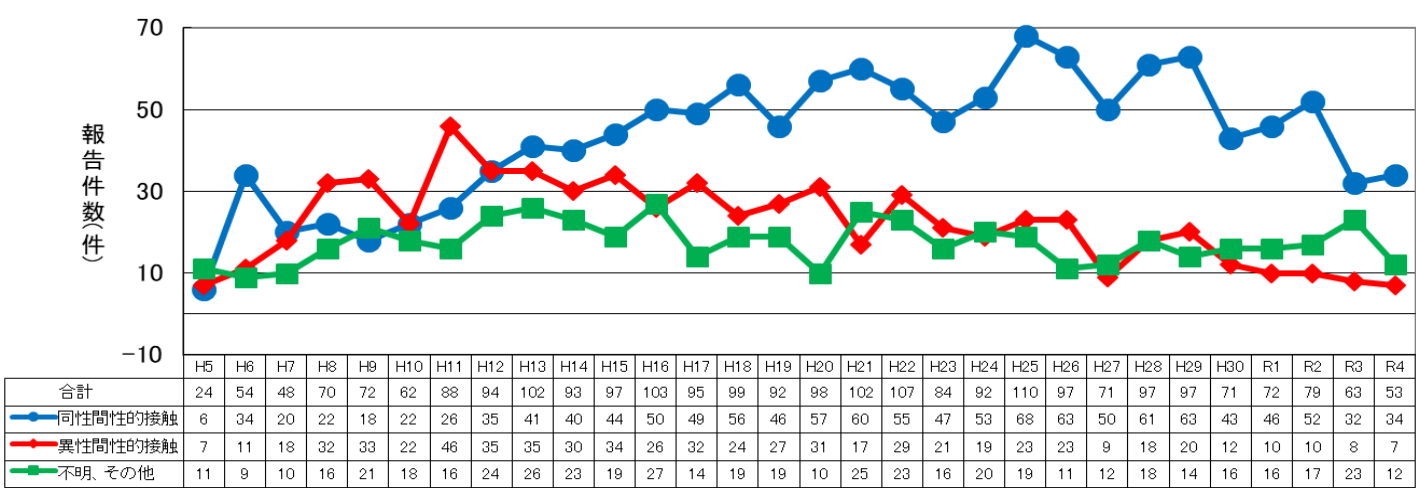
東京都のAIDS患者報告数は、近年、全国の報告数の約20%で推移した。

1-15
東京都の
AIDS患者の
国籍別・性
別報告数年
次推移



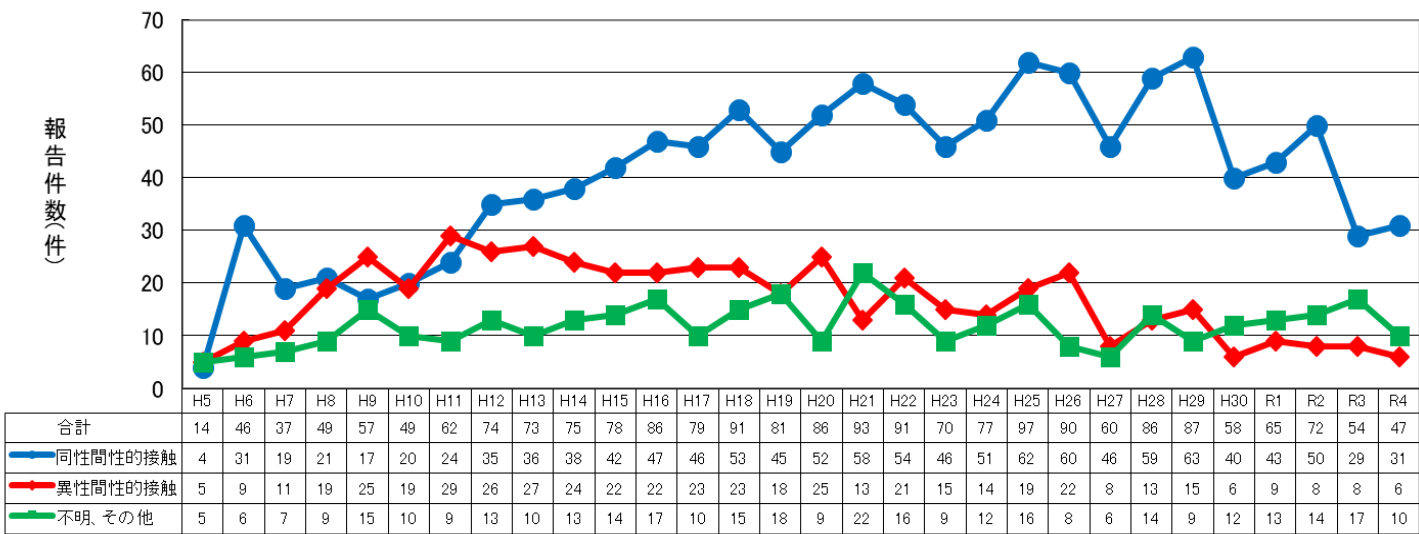
東京都のAIDS患者の報告のうち、国籍および性別では日本国籍男性の報告数は前年より7件減少し47件であった。日本国籍女性及び外国籍男性・女性は近年横ばいである。

1-16
東京都の
AIDS患者の
推定感染経
路別報告数
年次推移



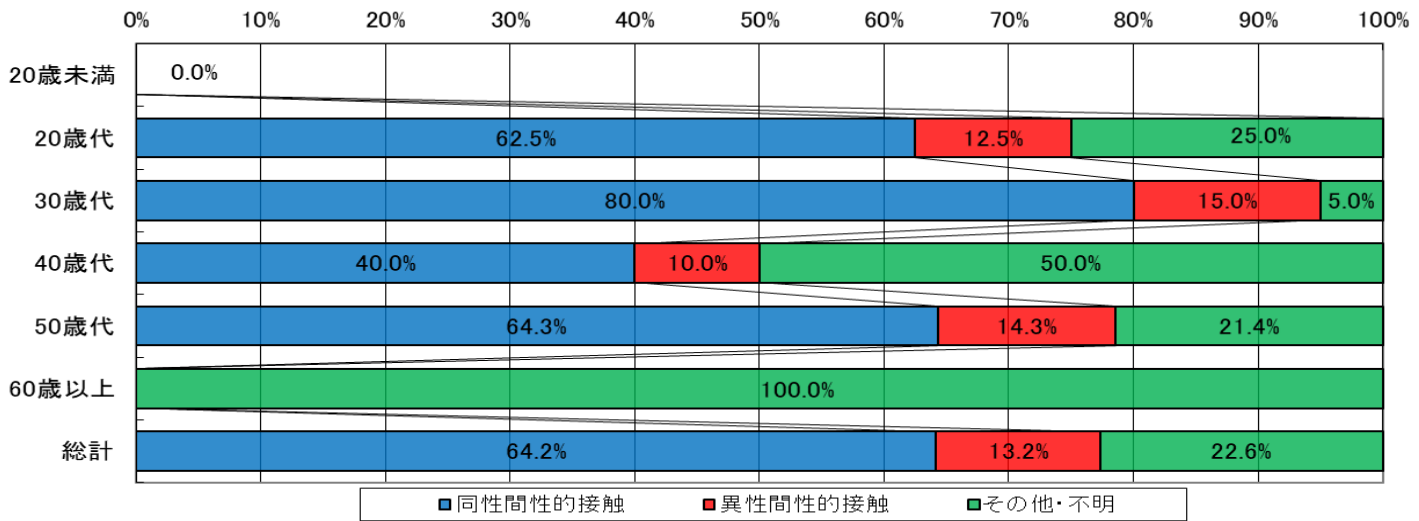
東京都のAIDS患者の報告のうち、推定感染経路別では同性間性的接触(両性間性的接触含む)の報告数は前年より2件増加し34件であった。異性間性的接触の報告数は前年より1件減少し7件であった。

1-17
東京都の
日本国籍男
性における
AIDS患者の
推定感染経
路別報告数
年次推移



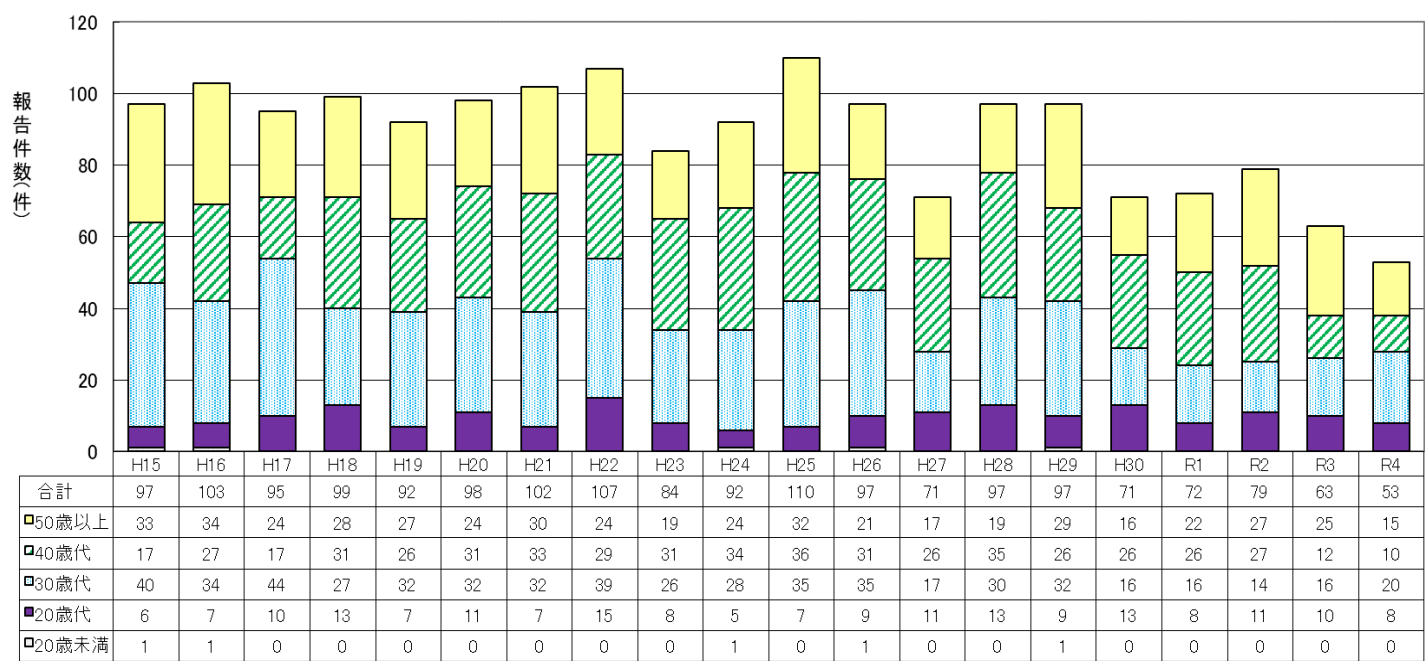
東京都の日本国籍男性におけるAIDS患者の報告のうち推定感染経路別では、同性間性的接触(両性間性的接触含む)の報告数は前年より2件増加し31件であった。

1-18
東京都の
AIDS患者の
年齢別・推
定感染経路
別報告割合
(令和4年)



東京都のAIDS患者の報告のうち、感染経路別では同性間性的接触(両性間性的接触含む)の割合が、全体の約64%を占めていた。

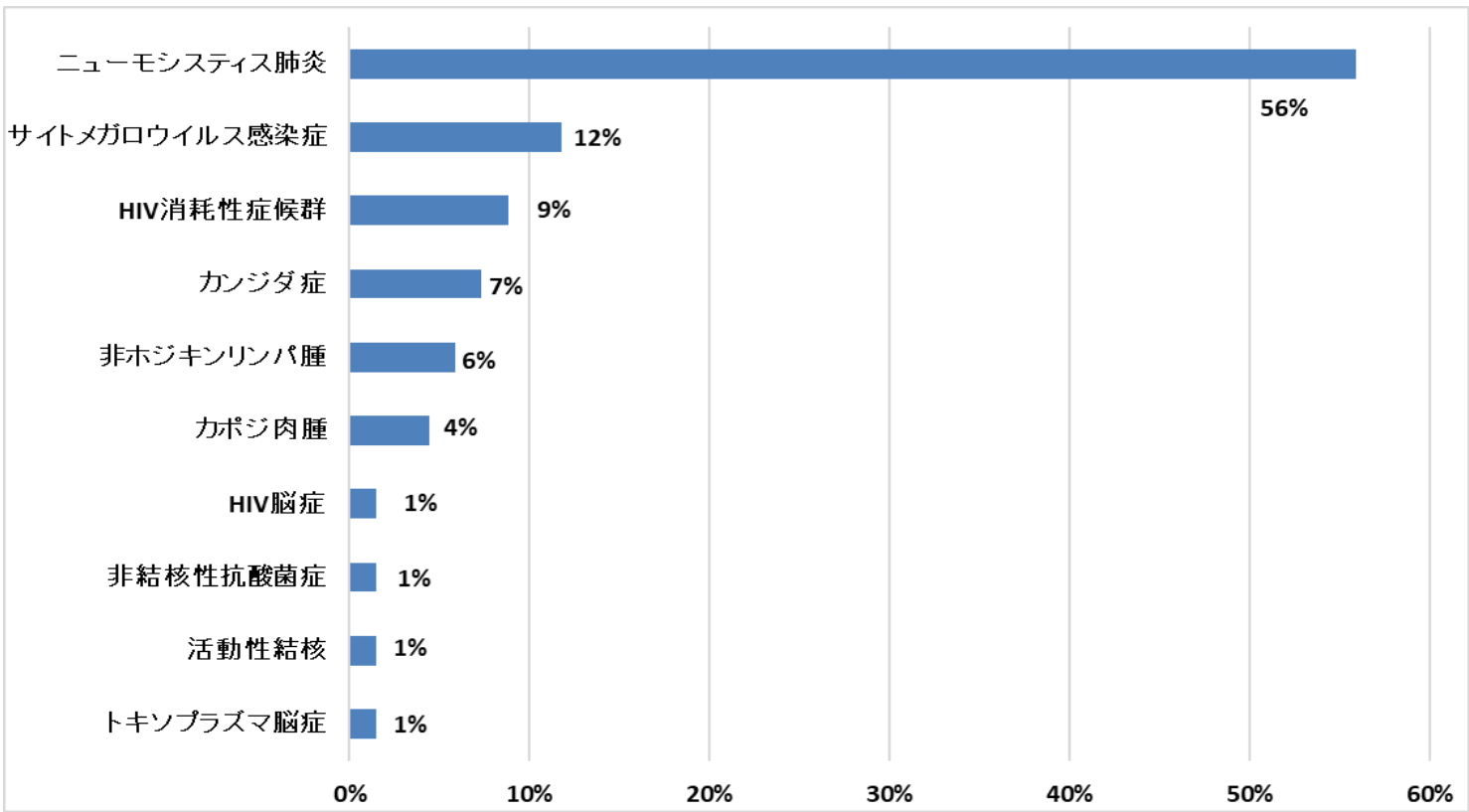
1-19
東京都の
AIDS患者の
年齢別報告
数年次推移



令和4年における東京都のAIDS患者の報告のうち、年齢階級別では30歳代は20件、50歳代以上は15件、40歳代は10件、20歳代は8件の順に報告数が多かった。

1-20
東京都の
AIDS指標
疾患
(令和4年)

* 複数回答

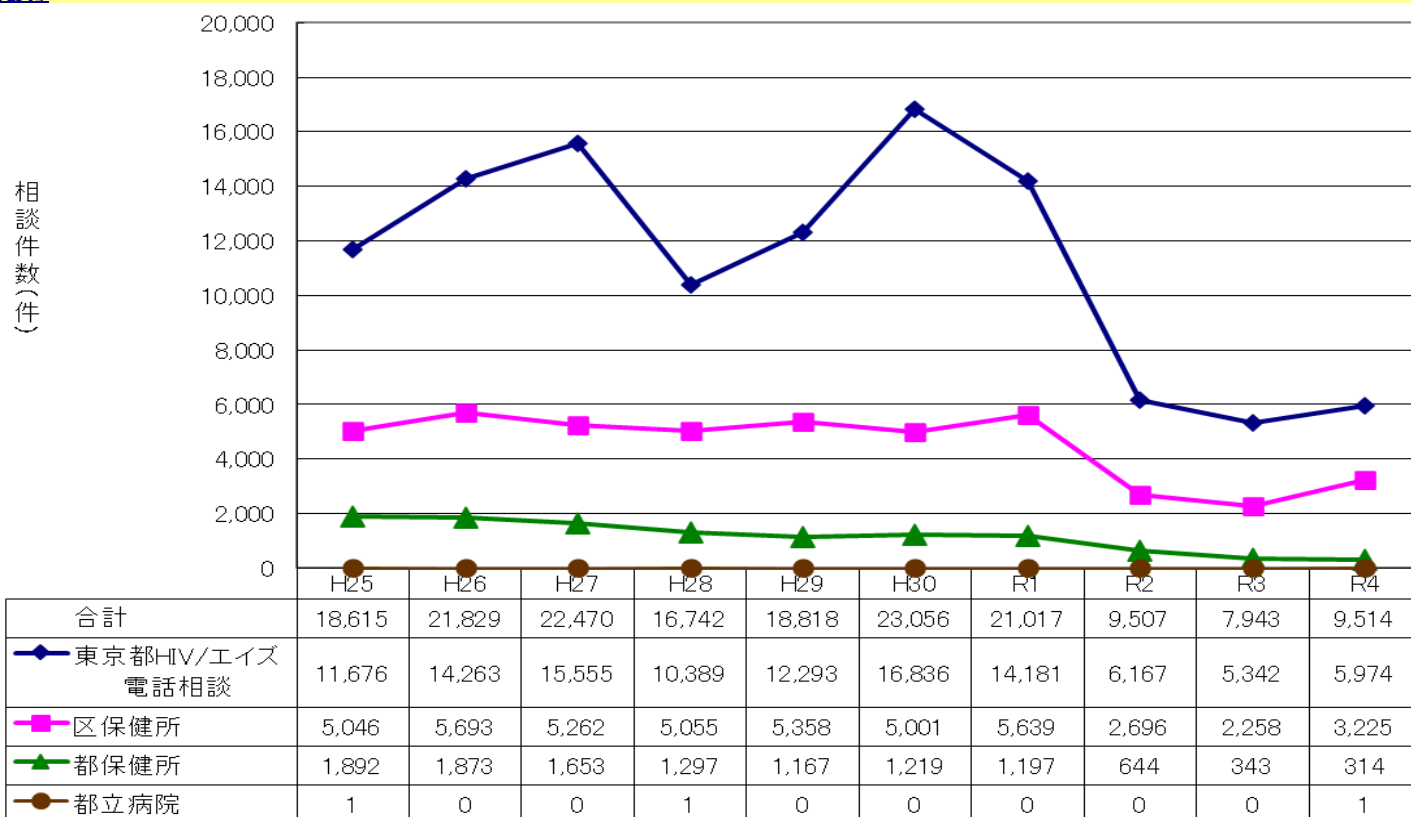


令和4年にAIDSと報告された者の56%がニューモシスティス肺炎によりAIDSと診断されている。次いでサイトメガロウイルス感染症が12%、HIV消耗性症候群が9%、カンジダ症が7%の順となっている。

2. 相談・検査・療養体制

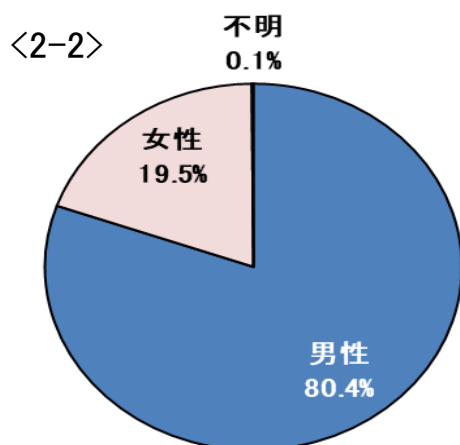
[HIV/エイズ電話相談]

2-1 東京都の HIV/エイズ 電話相談 件数 年次推移



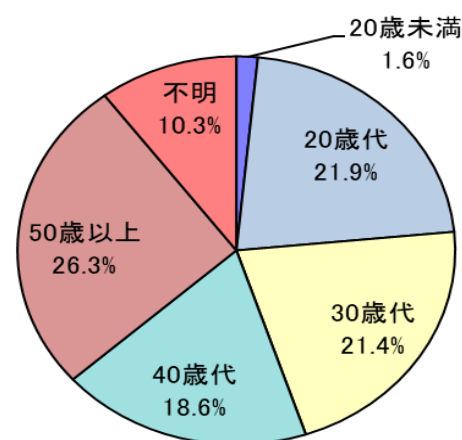
エイズ電話相談は、平成25年から2万前後で推移していたが、令和2年は前年と比べ半減、令和3年は最も少なかった。令和4年は9,514件と再び増加した。

2-2 「東京都 HIV/エイズ 電話相談」 における相 談者の性別 (令和4年)



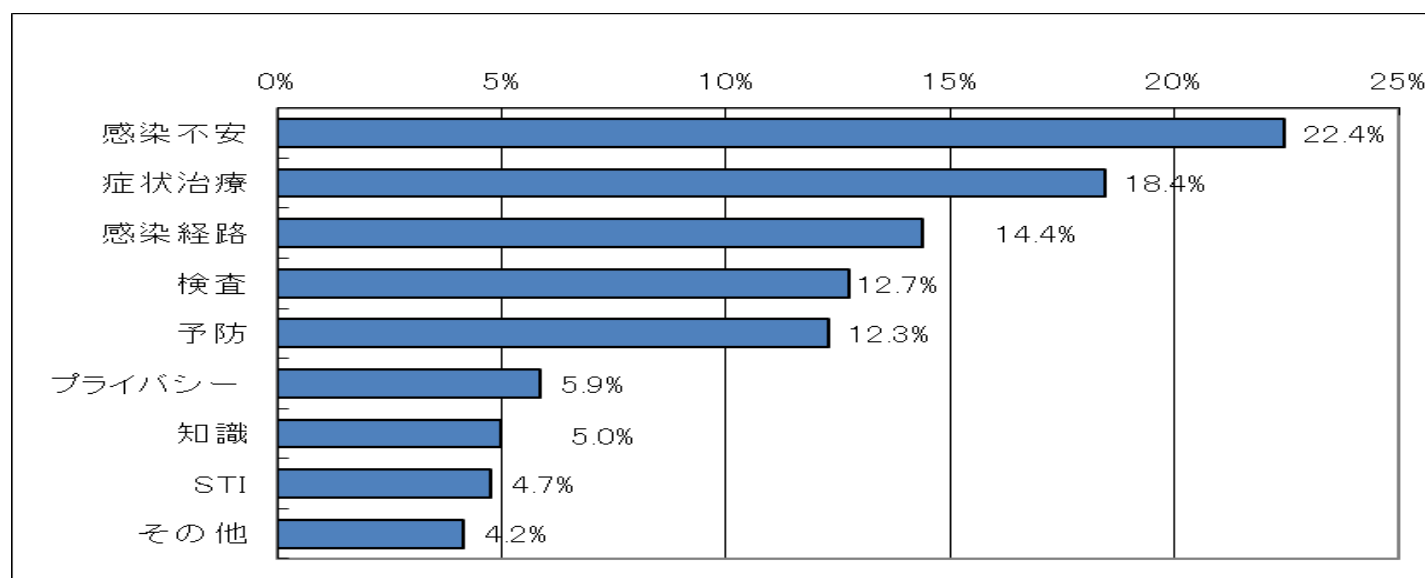
2-3 「東京都 HIV/エイズ 電話相談」 における相 談者の年齢 (令和4年)

<2-3>



性別割合では、約80%が男性となっている。年齢別に見ると、50歳代以上が26.3%と一番多く、次に20歳代、30歳代が多かった。

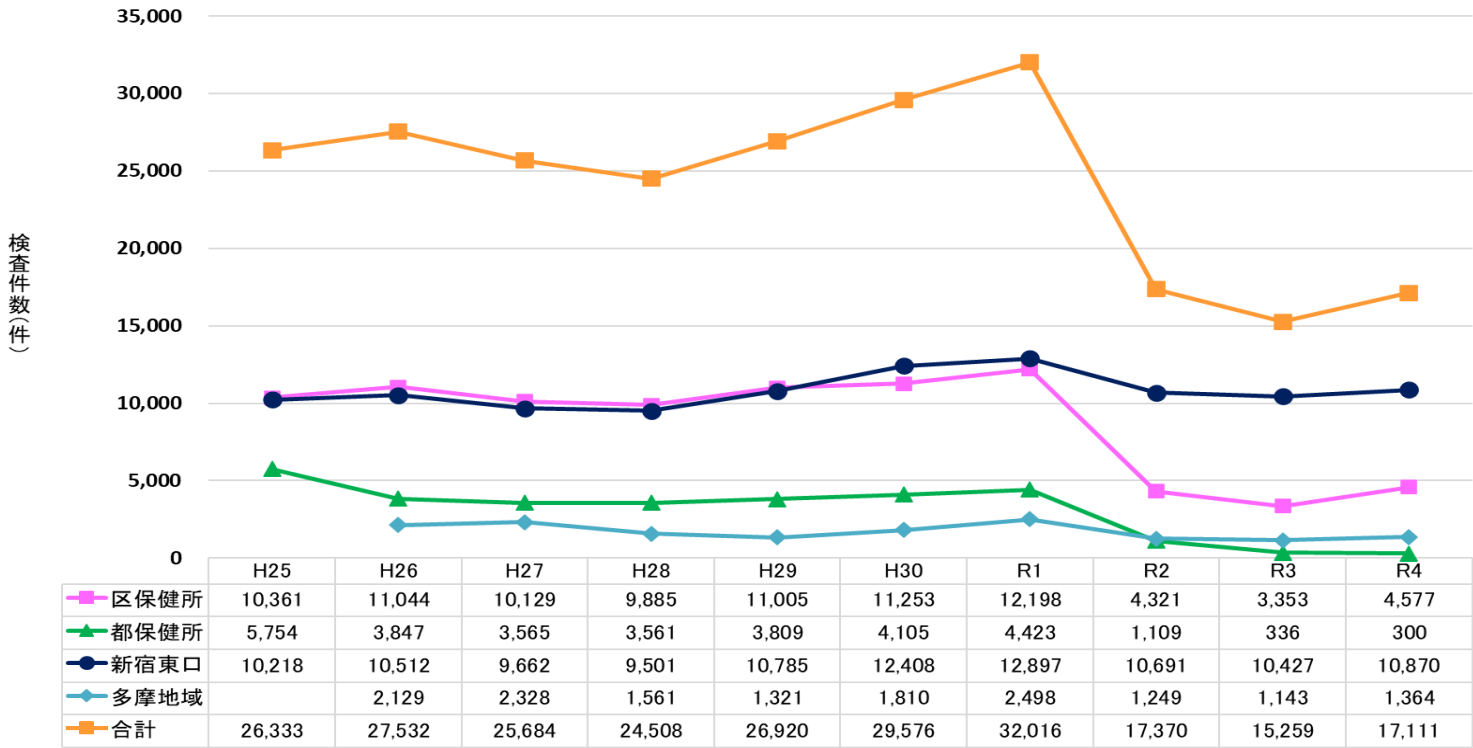
2-4 「東京都 HIV/エイズ 電話相談」 の相談内容 (令和4年) * 複数回答



東京都エイズ電話相談の相談内容は、感染不安が最も多く、次に症状治療が多い。

[HIV検査]

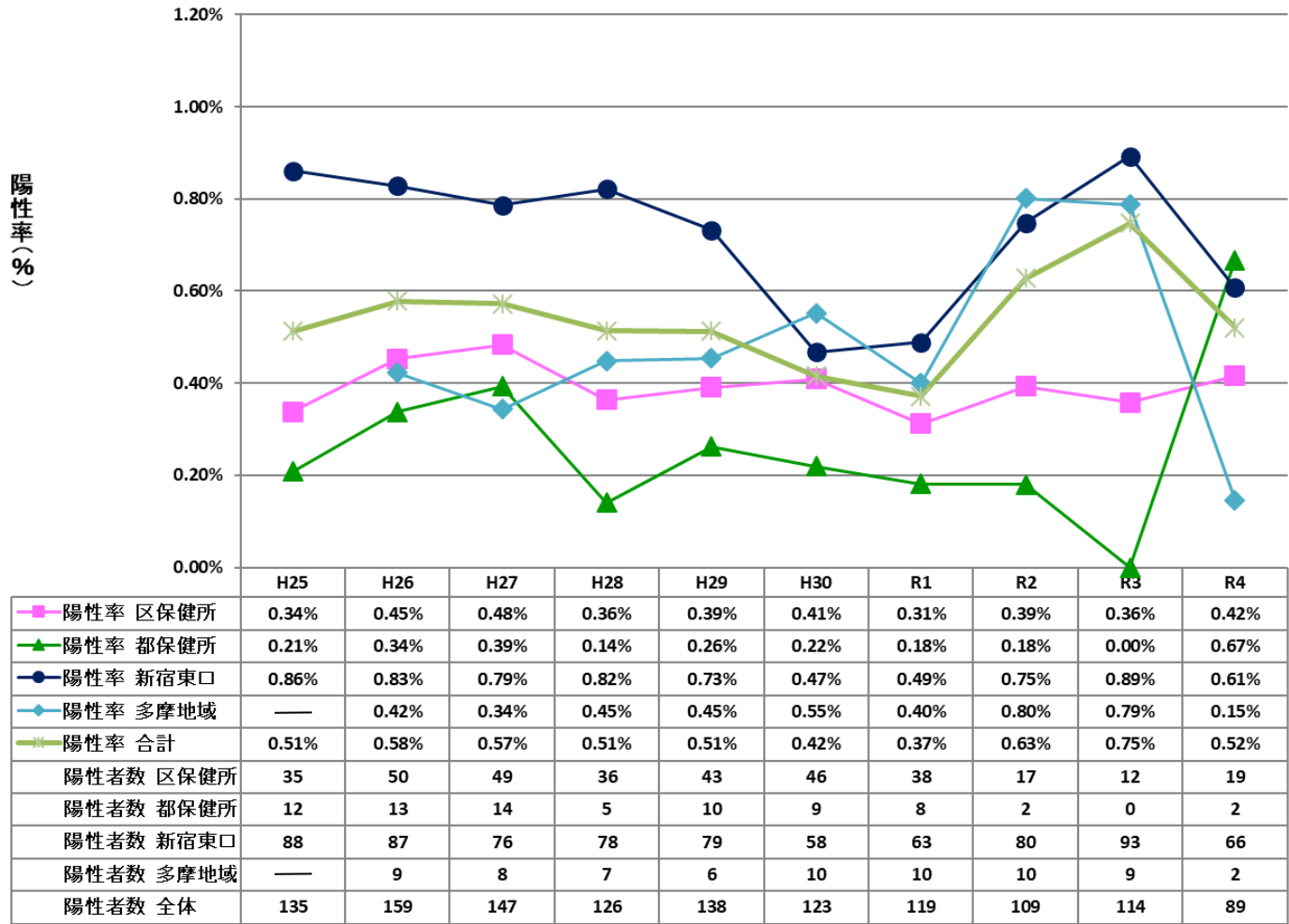
2-5
東京都の
HIV検査
件数年次
推移



※平成25年度までは多摩地域検査・相談室の実績は都保健所に合算、平成26年度から別掲。

検査件数合計は、令和2～4年は、新型コロナの影響による保健所等での検査の休止、縮小により、検査数が減少している。区保健所では、1,224件増加、新宿東口検査・相談室では443件増加、多摩地域検査・相談室では221件増加し、都保健所では36件減少した。令和元年と比べると令和4年は全体では約53%まで減少、区部で約38%まで減少、都保健所で約55%まで減少した。

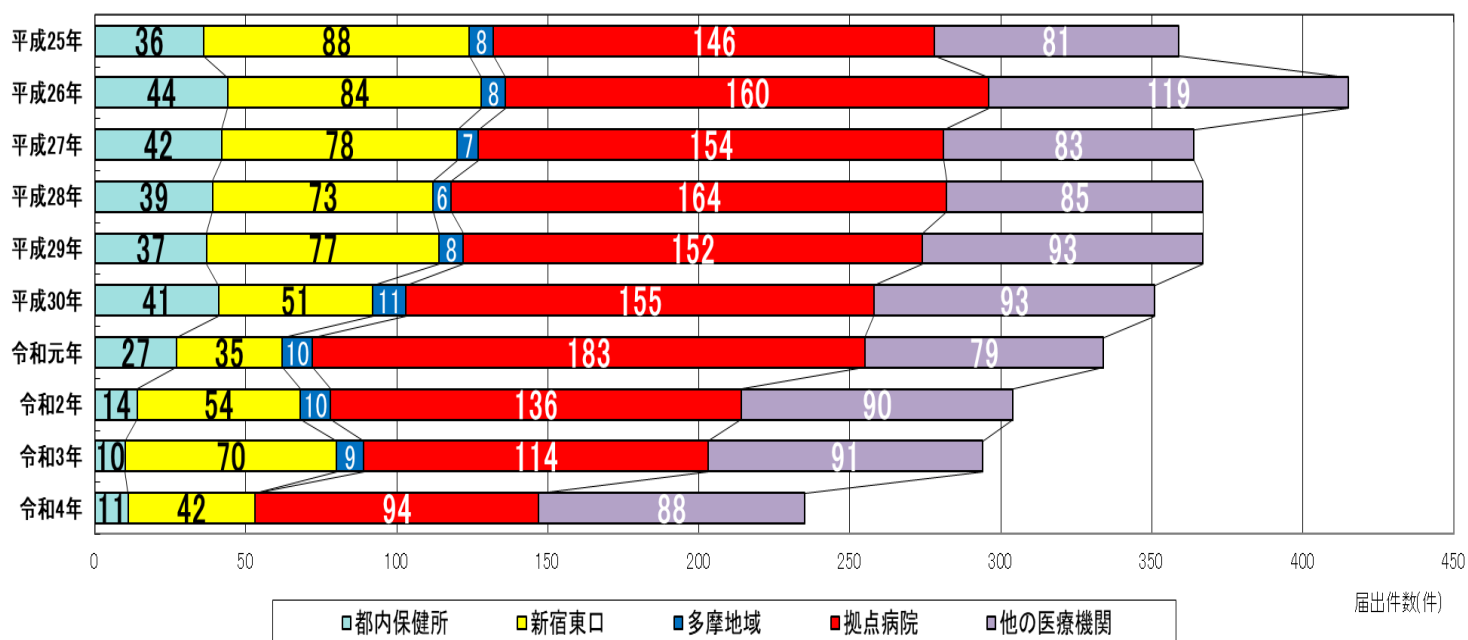
2-6
東京都の
HIV検査に
おける陽性
件数・陽性
率年次推移



陽性率は、区保健所は0.4%前後で推移し、都保健所は増加、新宿東口検査・相談室および多摩地域検査・相談室はともに減少した。

[医療機関]

2-7
東京都の
HIV感染者
報告の届出
別割合
(平成25年
～令和4年)

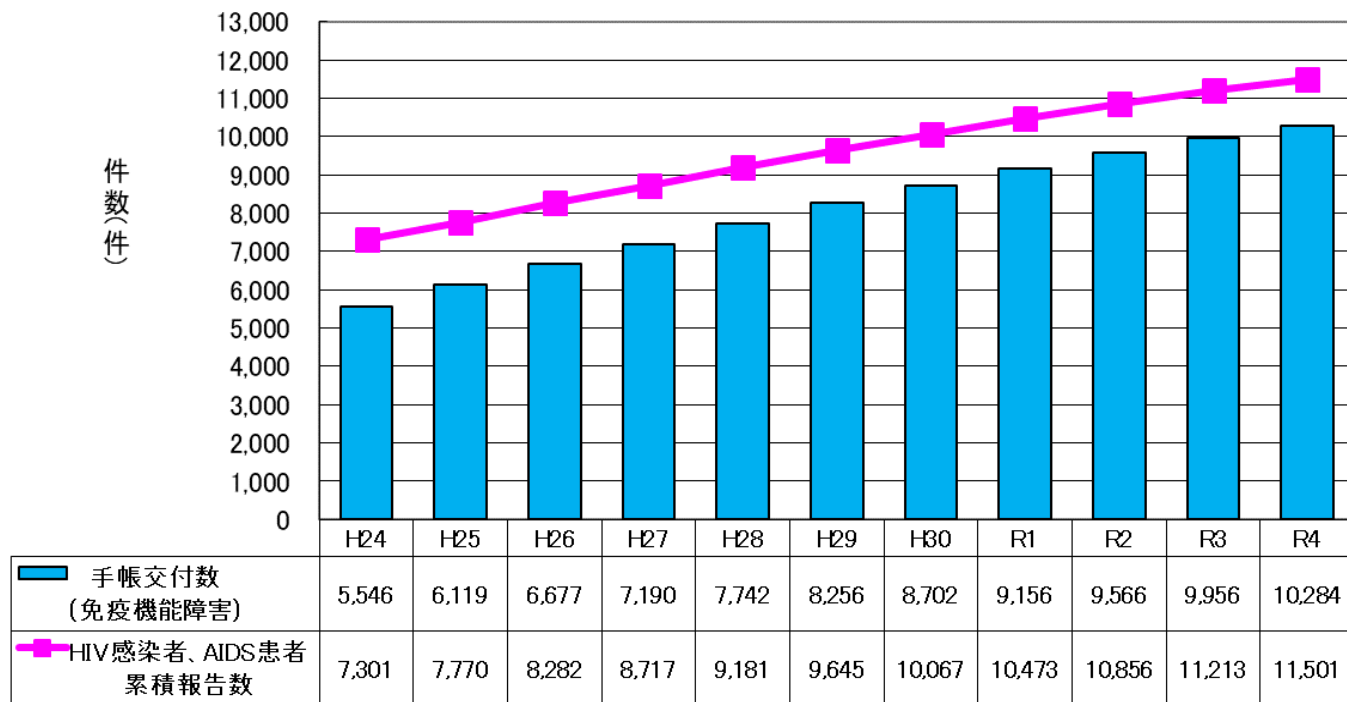


拠点病院からの届出件数が前年と比べ20件減少し、3年連続減少している。都内保健所は前年と比べ1件増加、新宿東口検査・相談室からの届出件数は28件減少した。

[身体障害者手帳]

2-8
東京都の
身体障害者
手帳(免疫
機能障害)
交付数年次
推移と
HIV感染者、
AIDS患者
累積報告数

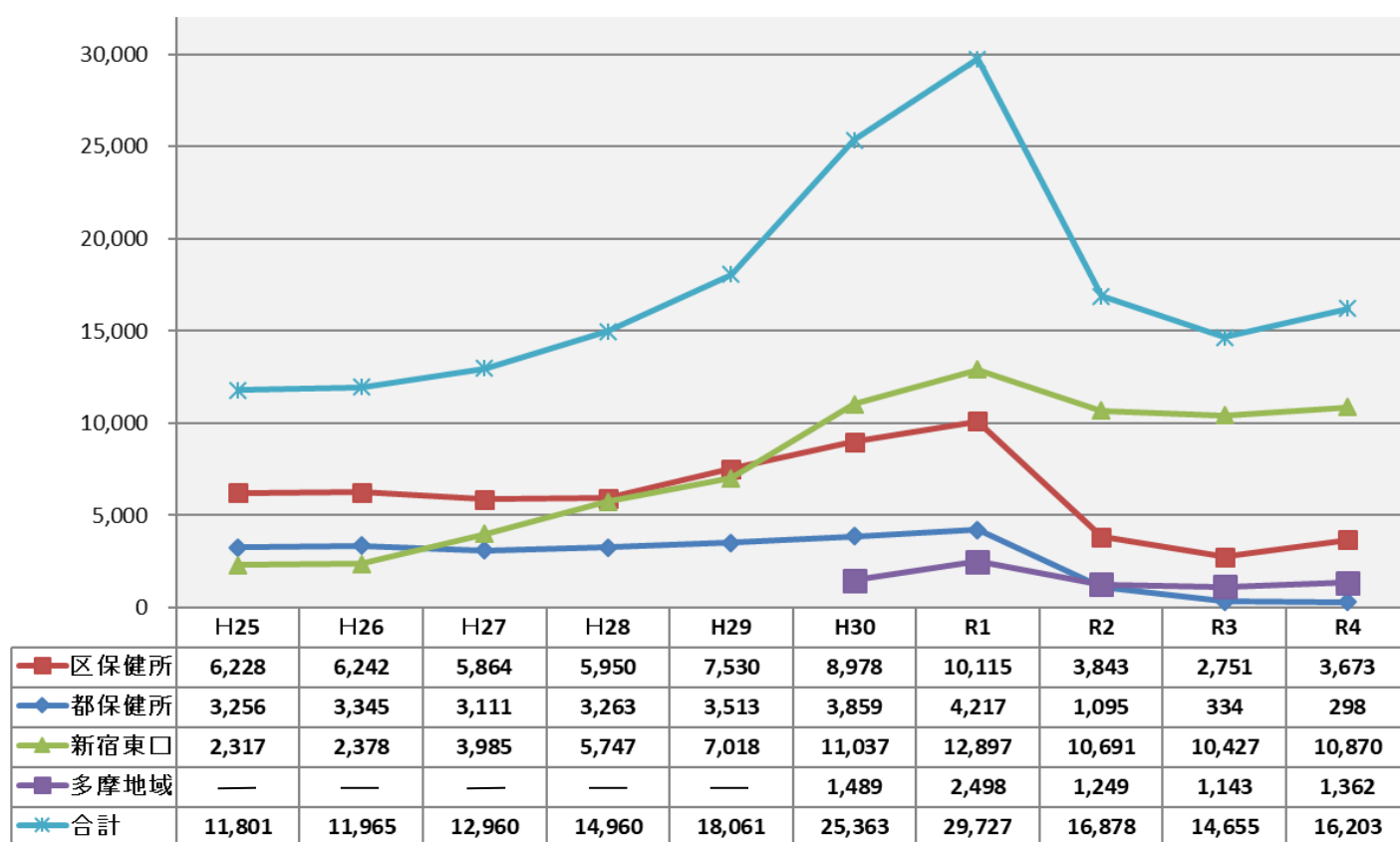
※各年の12月末時点での数値



HIV感染者、AIDS患者の累積報告数の増加とともに、身体障害者手帳(免疫機能障害)の交付数も年々増加した。令和4年の免疫機能障害による身体障害者手帳交付台帳登録は前年に比べ328件増加した。

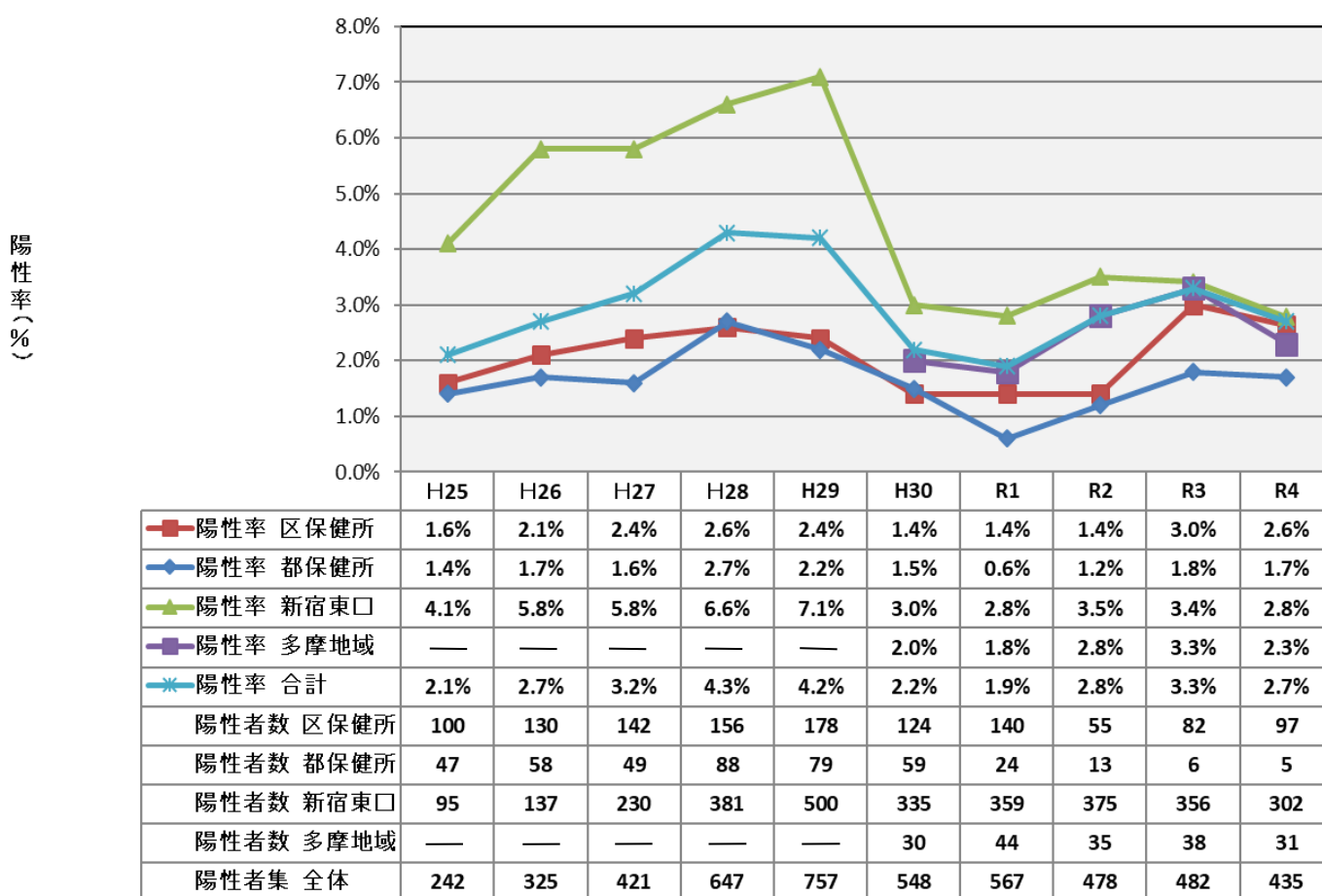
[性感染症検査]

2-9
東京都の
梅毒検査
件数年次
推移



検査件数は前年に比べ、都保健所以外では、いずれも増加した。

2-10
東京都の
梅毒検査に
おける
陽性件数・陽性率
年次推移



陽性率は前年に比べ、いずれも減少した。陽性者数は区保健所で増加がみられるも、それ以外では減少した。

3. 世界及び全国のHIV感染者・AIDS患者数

○世界のHIV/AIDS流行状況 2022年末現在 (UNAIDS/WHO)

○日本のHIV感染者、AIDS患者累計数2022年末現在(厚生労働省)

HIV 感染者数(推計値)

3,900 万人(3,310 万ー4,570 万人)

HIV感染者報告の累計数

23,863人

2022年における新規HIV 感染者数 (推計値)

130万人(100 万ー170 万人)

AIDS患者報告の累計数

10,558人

2022年におけるAIDS による死亡者数 (推計値)

63 万人(48万ー88万人)

実際の数値は推計値の右側 () 内に記載された数値の範囲内に存在する。
これらの数値は入手可能な最良のデータを基にして算出されている。

《検査は匿名・無料》

★東京都新宿東口検査・相談室 HIV通常検査(予約制)

HIV検査と同時に梅毒検査も実施しています。

住所:新宿区歌舞伎町2-46-3 SIL新宿ビル2階

予約電話番号(東京都HIV等検査予約センター):050-3801-5309

電話予約受付時間: 10:00~20:00(年末年始を除く)

検査受付時間 月~金曜日(祝日を除く) 15:30 ~19:30

土・日曜日(祝日を除く) 13:00 ~16:30

※6/1~6/30及び11/16~12/15は、希望者には性器クラミジア・淋菌同時検査を実施
(尿検査のため、検査日の前日までに尿採取セットの受け取りが必要)

新宿東口検査・相談室
の詳細



※インターネット予約
(24時間)



★東京都多摩地域検査・相談室 HIV即日検査(予約制)

HIV検査と同時に梅毒検査も実施しています。

住所:立川市柴崎町2-21-19 東京都立川福祉保健庁舎内2階

予約電話番号(東京都HIV等検査予約センター):050-3801-5309

電話予約受付時間: 10:00~20:00(年末年始を除く)

検査受付時間: 土曜日・日曜日(祝日を除く) 9:50から

問い合わせ先 090-2537-2906 (平日:9:30~17:00、土・日9:30~15:00)

※判定保留の場合は原則1週間後に検査結果を通知します。

多摩地域検査・相談室
の詳細



★東京都HIV/エイズ電話相談

電話 03-3227-3335 (月~金:正午から午後9時まで、土・日・祝日:午後2時から午後5時まで)

★HIV/エイズに関する相談・検査(匿名・無料)は各保健所へ

【発行】東京都保健医療局感染症対策部
防疫課エイズ対策担当
〒163-8001 新宿区西新宿二丁目8番1号
電話 03-5320-4487